



シーサイド海の中道

写真：永田 智士 保護司



東風

発行責任者
福岡市東区箱崎 1-32-1
福岡市東保護区保護司会
会長 堺 知行 部
編集 総務 部

会長就任挨拶

東保護区保護司会 会長 堺 知行



令和 5 年 4 月の定例総会におきまして、藤野重久会長の任期満了に伴い会長に選任されました 6 分区の堺

知行 (66 歳) です。私が保護司委嘱を受けましたのが平成 15 年 9 月で、その当時藤野会長は名総務部長として東保護区保護司会を切り盛りされ、平成 26 年度より会長として正に大黒柱の存在でした。

その後を託され不安で心許無い限りではありませんが、微力ながら更生保護活動のさらなる発展に向け努力していく所存です。今後共よろしくお願い申し上げます。

近年、私たちを取り巻く社会環境は著しく変化しております。

全国における刑法犯の認知件数は戦後最少と報じられておりますが、日常生活を営むうえでの体感治安の悪化を誰しもが感じている今日ではないでしょうか。また、刑法犯における再犯率は令和 2 年には 49.1% に達しています。

このような中、更生保護に対する社

会の関心と期待は増しております。犯罪や非行をした人たちの立ち直りを支える地域の中心である保護司会の役割はますます大きく重要なものとなっております。

現在、東保護区保護司会に所属する保護司は 100 名で、「処遇活動」と「地域活動」による更生保護活動を、総務部・研修部・犯罪予防活動部・協力組織部の 4 つの機能部会に業務分担任して行っています。又、6 つの地域分区分に別けて保護司会活動を組織化し、分区分会も毎月 1 回実施され東保護区としての情報の共有化もしております。

今後一層の発展を考えると、これからは保護観察所のご指導をいただきながら、行政機関の福岡市役所・東区役所・東警察署や民間の更生保護団体であります協力雇用主会・更生保護女性会・BBS 会や東区諸団体と、一層の協力関係の構築に努め安全・安心な地域社会、そして「誰一人取り残さない」共生社会の実現化へ向け「ワン・チーム」を作り上げることではないでしょうか。ご指導ご協力の程よろしくお願致します。

信条

私たち保護司は、社会奉仕の精神をもって

- 一、公平と誠実を旨とし、過ちに陥った人たちの更生に尽くします。
- 一、明るい社会を築くため、すべての人々と手を携え犯罪や非行の予防に努めます。
- 一、常に研鑽に励み、人格識見の向上に努めます。

第10回 協力雇用主と保護司との連絡協議会

(令和5年1月21日) 協力組織部長 宮崎 雅敏

コロナの影響で3年間延期だった連絡協議会が、人数制限の下ではありましたが、やっと開催されました。

保護観察所関係を始め、協力雇用主の皆様、糟屋保護区保護司の方々、来賓や東保護区保護司も含めて51名の参加で行われました。

以前保護観察を受けていた2名の方に、体験発表をしてもらいましたが、その中で生い立ち、道を外れた経緯、これではいけないと気付いた事を、素直に述べてくれました。ひとは、頑張って高校卒業資格を取り、専門学校に進み、医療関係の仕事に就いたとの事。もうひとり

りは、保護司の先生に大変お世話になったので、将来は保護司になりたいと言っていました。この発表の中で、保護司と対象者との関わり方の重要性を改めて感じたところ



会場内では、他の協力雇用主から「次回はうちからも発表させて頂きたい」という声があがったり、他地区の保護司さんから「この様な協力雇用主会のやり方を教えてほしい」などの反響がありました。我々もこの様な声を聞けば、こまめでやってきて本当に良かったと思いい、この会がこちらで開催され犯罪抑制に繋がればと思っている次第です。

「工藤良」氏の講演を聴いて 研修副部長 安河内 浩巳

2月8日、私たち保護司は、工藤良氏の体験談を聴く機会に恵まれました。お忙しいことも手伝い、講演回数を少なくしておられる中、足を運んでくださり大変嬉しく感じました。

田川ふれあい義塾は、工藤氏が理事長を務める「特定非営利活動法人TFG」が設置経営する更生保護施設であり、保護観察中の少年を対象とし、保護観察所からの委託によって受け入れ

ています。全国でも数少ない少年専用施設でもあります。さらに全国で唯一となる女子少年専用更生保護施設を開設しました。両施設共に、法務大臣の認可を受けています。いじめや暴力、窃盗、薬物の使用、暴走行為、詐欺など少年たちの「非行」



は、大人たちがどれだけ働きかけても改善へと導くのが難しい状況であります。非行少年らが社会的自立に向け歩みを進めていくためには、専門的な知識や経験を持った「大人」が核となる事が必要で、そのために関係者とながらながら少年たちへの支援を展開していくことが求められていると、魂をこめて語られました。

私たちが経験できないリアルなお話を多く聞かせて頂きましたが、その中で特に気になったのが再犯率です。50%〜60%と聞きますが、実際に肌で感じているのはもっと高い数字だということ。大人社会の負の影響が「非行」に走らせたり、そうせざるを得ない状況にしているのだとしたら、とて

も悲しいことです。保護司活動を通して、非行少年たちの社会的自立を少しでも後押しできるように行動していきたいと思いました。

福岡市更生保護活動功労者表彰

福岡市では令和4年度から再犯防止推進5カ年計画を策定し、その事業の一環として、昨年度から更生保護活動の功労者が表彰されることになりました。令和5年1月27日、表彰式が開催され、東保護区からは次の方々を受賞されています。

- 【福岡市長感謝状】
- 我部 郷子
- 藤野 重久
- 森 茂人
- 宮崎 雅敏
- 箱嶋 次雄



サポートセンターだより (お知らせ)

令和5年度総会におきまして、役員改選があり、これに伴い更生保護サポートセンターの「企画調整保護司」が変更となりましたのでお知らせいたします。尚、ご利用内容等に変更はありませんが、時間が左記の通りとなりました。(時間外で利用される場合は、予め事務所にご連絡ください。)

【企画調整保護司】

- 堺 知行 (会長) ・ 田中清実 (副会長) ・ 外赤美恵 (副会長)
- 山田千鳥 (会計) ・ 永島紀子 (総務部長) ・ 石橋義信 (総務副部長)
- 古閑幹子 (総務副部長) ・ 柴田桂 (研修副部長) ・ 川村千誉志 (総務部)

開所日…原則 平日 月曜日から金曜日まで
時間…原則 午前10時〜午後4時
(会議、面接等利用の場合はこの限りではありません)

保護観察のレポート

あきらめないで

第5分区 K・S

睡眠薬を服用し飲酒運転で事故を起こした女性の対象者を担当した時のことです。

保護観察官から、精神的に不安定だとの連絡を受けたので、面接の方法を自分なりに考えました。面接日時は、精神的に安定している時に自ら連絡をしてくれるように委ねましたが連絡はありません。こちらから往信をしてもなかなか繋がらず、ようやく折り返しの電話があり日程調整をしても、来訪がない日々でした。

保護観察官に相談した上、直接会うことは難しいので、まずは電話での保護観察に切り替えました。少しずつ警戒心が薄まり始めた頃、「彼氏ができた。」との報告があり3人で面接するようにになりました。彼がとても協力的なので、私と連絡を取り合いながら彼女を見守るようになりました。

それからは精神的にも安定した様子で本人から連絡も来るようになり、「施設に預けている子どもたちを引き取り、彼との結婚も考えている。」など前向きな言葉も出て、面接日程に関しても本人から連絡がくるようになりました。そのうち、母親とも会ってほし

いという希望で面接に同席する事もあり、不安定な時や分らない事がある時等も連絡をくれる様になり、私もひと安心したところでした。

そんな中、彼女から突然夜中に電話がありました。コンビニから帰宅したら家に居た彼が意識がなく救急車を呼んだ、今病院にいるというのです。そして次の連絡で彼が亡くなったと聞かされました。彼のおかげで安定して回復に向かっている矢先の出来事で、本人の精神状態は崩壊寸前でした。

それからは、母親のサポートもあり少しずつ落ち着きを取り戻していったところ、本人に癌が見つかり手術。入院予定3週間のところを無理やり1週間で退院するなど、再び不安定になりました。またその状態の中で、てんかんも発症、悲しみと絶望感で酩酊状態になるほどの飲酒、睡眠薬や市販薬（頭痛薬や咳止め等）の大量摂取、自暴自棄になり自殺願望もありました。このままではと思い、何とか支えていきたいと母親を交えて話を重ねると、精神的な治療をするために入院して前を向いて生きていくと約束してくれました。

この事例のように、人は支えがあると、何度倒れても起き上がることができ、保護司として微力ながらも、その支えのひとつとなれるようこれからも精進していこうと思います。

※本事例については、プライバシー保護の観点から個人を特定できないよう、内容の一部を変更しています。

退任にあたり 藤野 重久



令和5年度総会にて、東保護区保護司会会長を任期満了で退任いたしました。

歴代会長や保護司の先輩方が築いてこられた保護司会を繋いでいくことで精一杯でした。このような微力な私が9年間の長きにわたり会長の立場に居ることができましたのは、ひとえに皆様のご指導ご支援のおかげと心から感謝申し上げます。今後は一保護司として、微力ですが更生保護活動に努めてまいります。

後任会長には、「堺 知行」保護司が就任されました。今後は大いに手腕を発揮していただき、会の組織力アップを期待しております。

東保護区保護司会の益々の発展を祈念申し上げます。退任にあたり御礼申し上げます。

祝 瑞寶雙光章

この度、藤野重久保護司には、永年の更生保護活動により、春の叙勲にて栄えある瑞寶雙光章を受章されました。これからの更なるご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。

新担当保護観察官紹介



保護観察官 田平 武史

今年度から、東保護区1〜3分区を担当させていただきます。さて、更生保護法等



保護観察官 後藤菜保子

今年の4月から東保護区4〜6分区を担当しております。4月の研修会では、

の一部改正等を通じた「地域社会に貢献する更生保護」の実現が求められています。東区においても息の長い社会復帰支援を推進するため、特に、依存症が原因で受刑を繰り返す対象者が地域の支援機関（医療機関、相談支援事業所等）へ繋がっていきけるよう、地域支援ネットワーク等を構築していきたいと考えております。

保護司の先生方には、地域の支援機関の情報提供を頂けたら助かります。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

非常に緊張していた私でしたが、保護司の皆様は温かく迎えていただき、ホッと一安心いたしました。保護観察中の方々も、保護司に温かく迎えてもらう経験や親身になった指導助言によって、新しい気つきを得て、より良い方向に行動を改めることができているのだと思います。保護司の皆様の日頃の活動に、深く感謝申し上げます。私も東区の更生保護の一員としてお役に立てるよう、精進して参りますので、ご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願いいたします。



新任紹介

令和5年3月28日付

「心をひらいてー」

第1分区 平井 輝人



今年度4月より、第1分区馬出校区保護司の仲間入りをさせて頂くことになりました、平井輝人です。

名前といえば、眼科で瞳孔を開く目薬を看護師さんにさしてもらった際に、「瞳孔がひらいてるひと」と笑われた経験もあります、そのパターンで覚えて頂けると忘れないようです。

保護観察所に行った際、嚴重な警備を見て内心とんでもない組織に入ってしまったと思いました。しかし、先日の情報交換の際に、諸先輩方から色々なアドバイスや励ましのお言葉を頂いたので、目標としては対象者の方に対して「心をひらいてるひと」になれるように頑張りますので、何卒宜しくお願い致します。

「地域社会のためにできること」

第4分区 黒田 謙人



本年度より保護司を務めさせて頂くことになりました。た黒田(くろぞ)です。

保護司という仕事があることは知っておりました。正直、自分には向いていないと思っていました。自分自身の成長のために、そしてそれが地域社会のためになるのであればいいかと思ひ引き受けさせて頂きました。

私は建設業の仕事をしており、犯罪

分区日記

東風吹かば。

みんなが集まる なみきスクエア

第4分区 草野 崇敏

当分区は4中学校(松崎・城香・香椎第1・照葉)と8小学校(名島・城浜・香椎浜・千早西・千早・香陵・照葉・照葉北)を担当しています。また来年アイランドシティに新しく小学校ができる予定で東保護区では小学校と中学校の担当が一番多くなりそうです。

街並みといえば、早々再開発もあり、新しいマンションも次々にできています。喜ばしいことですが、小・中学校の教室が足りない状態になっているそうです。

さて、4分区は経験豊富な疋田分区長を中心に個性豊かな16名の保護司で活動しています。分区内になみきスクエアがあるので、定例会はその会議室を使わせていただいています。コロナ禍で一時利用が制限されていましたが、ようやく元に戻り開催できるようになりました。4



分区会の様子

校の中学校と同時に行っていた協議会も、今年度は開かれると思います。

学校側との情報交換会も、早く元通りなることを期待しています。

歴のある職人さんとも接してきています。犯罪のない地域社会を築くことも大切ですが、犯した罪を償い、更生した方を受け入れる地域社会にすることも大切だと思っています。微力ではございますが、少しでも社会のためになる活動ができればと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

「努力している方に寄り添いたい」

第5分区 松本 律子



保護司のお話を頂いた時に、対象の方の中に発達障がいをお持ちの方もいらつしやるという事をお聞きしました。私自身の息子が発達障がいである事もあり、家庭環境や障がいにより思わぬ事で司法のお世話になり、立ち直ろうとしている方がいるならば、何かしら

「保護司として」

第6分区 天野 浩久



今年度より保護司を務めさせて頂いたことになりました。天野浩久と申します。職場の先輩が保護司をされていてお話を伺ったことがあり、「大変な仕事だ

お手伝いできたならという思いで保護司になりました。

もちろんそれ以外の方も対象の方がいると思います。社会に復帰するため努力される方に寄り添い、人生をやり直し社会復帰されていく後押しができればと考えております。

保護司の先輩方の指導を仰ぎながら精進して参ります。よろしくお願ひ致します。

新東風の会！

当保護司会では西戸崎SCCにて、ゴルフコンペを開催しています。

当初は3分区と6分区保護司の参加が多く「3・6会」との名称でしたが、東保護区全体新宮保護司にまで広がりました。

ゴルフでリフレッシュし、保護司活動を益々充実させたいものです。



編集後記

新型コロナウイルスの「5類」移行に伴い、様々な制限が緩和され、マスクやアクリル板等が姿を消し始めました。先の大型連休には多くの人々が移動し、コロナ禍以前の賑わいも戻ってきました。

お寄せいただいた文章にもありますように、3年間、目に見えないウイルスに苦しめられてきましたが、今後は保護司会も全ての活動に取り組めるようになりそうです。全力で取り組んでいきたいと思っております。

最後になりましたが、ご寄稿いただきました皆様には心から感謝申し上げます。お蔭様で「東風」54号を発行することができました。有り難うございました。(加藤)

な、私はそんな仕事はできないな。」と思っております。昨年地域の方から話をいただきましたが、自分には荷が重い仕事だと思ひお断りするつもりでした。しかし職場の先輩から「自分の為にもやったほうがいいよ。」とお言葉をいただき、引き受けることにしました。

先輩保護司の皆様のご指導を仰ぎながら、対象者の方の力になれる様に頑張っていきたいと思ひますので宜しくお願ひいたします。